BOOKS

日本現代舞踊の先人たち
片岡 康子・監修
丸善出版・刊

『日本の現代舞踊のパイオニア～想像の自由がもたらした革新性を照射する』（新国立劇場情報センター刊）は、遡ること約1世紀前、明治政府による近代化が進む日本で異文化に対峙した舞踊芸術の立役者たちの姿を克明に描いたものである。彼らは西洋から流入したバレエの道には進まず、「舞踊とは何か」「何をいかに表現すべきか」を問いかけ続けながら創作舞踊の道を切り開いていった。その道がいかなるものであったかを紐解く。

序章で新舞踊勃興の背景にある西洋文化の流入、帝国劇場歌部から浅草オペラへの変遷に触れ、続く各章で現代舞踊の父である石井漠、モダニズムに遭遇し、日本的要素を多く作品に取り入れ米国で道を拓いた伊藤道郎など、現代舞踊を語る上で重要な12人の舞踊家たちの偉業を明らかにする。とくに第7章で語られる、「いのち」に対する対話から生まれた作品を通してヒューマニズムを描こうとした檜健次の業績には胸に突き刺さるものがある。20代で渡米し、「日本人の人生観を舞台ににじみださせている」と表された彼の作品の世界観は米国の観客の心をわしづかみにした。また、自らが舞台に立つだけでなく、社会における舞踊の存在確立にも尽力し、多くの門下生を輩出した。後に彼らは舞踊にとどまらず、演劇、評論など幅広い分野にはばたいた。晩年、病に伏し歩行さえ困難になった身体で床に立ち、踊り続けた彼の生きざまは、まさに自らが残した「あらゆる芸術の中で舞踊は最も本能的なものなのである」との言葉の通りであった。同項はニューヨーク大学において現代創作ダンスの教鞭を執った田中いづみさんが執筆している。本書を読むと、先人たちが今日に綿々と続くコンテンポラリーダンスにどんな影響を与えているのかがわかる。洋舞前史とともに、略年譜、貴重な写真・図表も収録しており、人生を賭けて日本の洋舞界を牽引してきた先人の軌跡を検証する貴重な書だ。

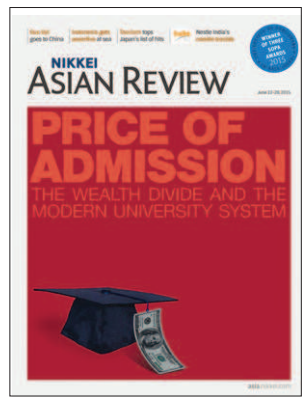
これまで専門的な学術書がなかったモダンダンスの系譜を明らかにし、700円という手に取りやすい価格なのも、先人たちの後を追う若きダンサーたちに教科書として使ってもらいたいとの心遣いからだろう。（三）

第7章を執筆した田中いづみさん

美術家の大山エンリコイサム　出版記念会

自著『アゲインスト・リテラシー～グラフィティ文化論』（LIXIL出版）の出版記念講演とサイン会を27日（土）午後2時、紀伊國屋書店ニューヨーク本店（アベニュー・オブ・ジ・アメリカス1073番地）で行う。サイン会は3時から4時まで。入場無料。

日本経済新聞社 Asian Review



アジア圏の実像に密着する

日本経済新聞社がアジアのメディアならではの視点で近年成長の著しいアジア経済圏の実像に密着した全文英語の週刊誌「日経アジアンレビュー」。世界を牽引する次世代のリーダーや、アジア経済の理解を必要とするビジネスマン向けに2013年に創刊した。

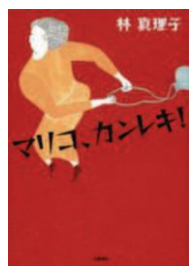
経済の専門家や知識人の洞察、見解、分析を交えて読者がアジアを理解し、その地で成功するための秘訣を紹介、パソコン、スマートフォン、タブレットPCなどのインターネット媒体と印刷物を融合した総合英語メディアとしてコンテンツを提供している。

「アジア企業ハンドブック」とタイトルが付いた号では、インドと東南アジアで最も勢いのある会社150件を時価総額や潜在的な成長の可能性に基づいて選出。トップに選ばれたのは、シンガポールの「シンガポールテレコミュニケーション」だ。各企業のプロファイル、ファイナンシャルデータなど詳細な情報を交えて、アジア市場に特化した英語マガジンとして、分かりやすくアジアの今を伝えている。（上 晴香）

■ 即買える新刊を紹介 ■

BUY BOOK ON LINE
オンラインですぐ注文できます
デジタル版www.nyseikatsu.comでここをクリック
BOOKS Kinokuniya
▲クリックすると新刊購入サイトへ！

身体能力が上がると脳も活性化する。12作の登場人物たちが紡ぐ新たなストーリー。マリコもついに60歳。稀代絵師の歓喜と苦悩。人気作家の漫画術を惜しみなく披瀝。理想の伴侶を獲得するには。



■ぼくらの身体修行論（内田樹・平尾剛、朝日文庫）思想家で武闘家の内田樹と、元ラグビー日本代表の平尾剛が身体論をめぐって熱論を交わす。スポーツ嫌いの子供が増える理由。筋トレはなぜ有効なのか。指導者はいかにあるべきか。2007年刊の『合気道とラグビーを貫くもの』を改題し、文庫オリジナルの対談を巻末に収録し発行。**■サイドストーリーズ**（ダ・ヴィンチ編集部編、角川文庫）『百瀬、こっちを向いて』『校閲ガール』『君たちに明日はない』『さよならドビュッシー』『天地明察』『探偵はバーにいる』『まほろ駅前シリーズ』など話題の12作の登場人物たちが紡ぐ新たなストーリー。それぞれの巻頭に本編のあらすじと作家の略歴を掲載しているので、作家と作品の入門編としても楽しめる。**■マリコ、カンレキ**（林真理子、文藝春秋 ）マリコもついに60歳。「派手なものはやめてね」と言っていたのに、またまたやってしまいました、「ド派でな還暦パーティー」。場所はミシュラン一つ星のフレンチ「レフェルベソンス」、司会は中井美穂ちゃん、歌は元宝塚トップスターの姿月あさとさん、お土産は京都・鶴屋吉信の紅白饅頭（マリコの顔のイラスト入り、なんと手描き）。「これからも思いきり、ちゃらいおばちゃんでいよう」。**■花鳥の夢**（山本兼一、文春文庫）足利義輝、織田信長、豊臣秀吉といった時の権力者たちの要望に応え、「洛中洛外図」「四季花鳥図」「聚光院障壁画」など次々と新境地を拓いた天才画家・狩野永徳。ライバル、長谷川等泊への嫉妬、戦乱で灰となる己の絵、秘めた恋。乱世に翻弄されながらも極みを目指した稀代絵師の苦悩と歓喜を描く。**■おもしろすぎる現代物理**（竹内薫、サンマーク文庫）人気長期連載「ジョジョの奇妙な冒険」の作者、荒木飛呂彦が明かす漫画の描き方。絵を描くときに必要な「美の黄金比」や、キャラクター造型に必須の「身上調査書」、ヘミングウェイに学んだストーリー作りなど具体的な方法論からその漫画術を惜しみなく披瀝する。**■現代版ルールズ**（エレン・ファイン、シュリー・シュナイダー、田村明子訳、ワニ文庫） 理想の伴侶獲得のための自己啓発書『ルールズ』のSNS世代に向けた最新版。メールやフェイスブックのルールズ、オンラインデートのルールズ、要注意男の見分け方、失恋を克服するルールズ、男性が幻滅する20のこと…。魅力的にミステリアスに自分を演出するには？ その極意と方法を伝授する。「ルールズは男性を射止めるゲームではなく、人生の生き方そのものなのです」（萱生暁子）　**■書籍データ／資料提供・紀伊國屋書店ＮＹ本店**